

しあわせ倍增プラン2013 平成28年度達成状況報告書

(内部評価)



平成29年9月

さいたま市

「しあわせ倍増プラン2013 平成28年度達成状況報告書」目次

1	達成状況の概要	1
	(1) しあわせ倍増プラン2013の進行管理の概要	1
	(2) 平成28年度達成状況評価	1
	(3) 評価結果の概要	2
2	各事業の達成状況	8

1 達成状況の概要

(1) しあわせ倍増プラン2013の進行管理の概要

「しあわせ倍増プラン2013」（以下「倍増プラン」という。）は、市長が掲げた「新しあわせ倍増計画」を基に、これを着実に推進していくため、平成25年度から平成28年度の4年間を計画期間として設定し、10分野60項目111事業により構成する行政計画として、平成25年12月に策定しました。倍増プランの各事業には、4年間の具体的な数値目標や取組内容を掲げるとともに、事業達成時に市民生活にどのような効果があるかも示しています。

平成25年度については、市が自ら内部評価を行い、平成26年9月にその結果を公表しました。

平成26年度については、前年度同様に内部評価を行うとともに、市民や有識者等で構成する市民評価委員会において、倍増プランに掲げた事業の進捗状況や成果について、市民目線での意見、提案等をいただきながら、外部評価を行いました。

平成27年度については、前年度同様に内部評価を行い、引き続き、市民評価委員会による外部評価を行いました。

そして、平成28年度は、倍増プラン計画期間の最終年度であることから、4年間を通じた達成見込みに基づく「最終（見込み）評価」を外部評価により実施し、市民評価委員会から平成29年3月に「評価報告書」が提出されました。

(2) 平成28年度達成状況評価

倍増プランの全111事業を対象とし、各事業に記載されている「(2)各年度の目標と取組内容（工程表）」のうち、平成28年度の「各年度の数値目標等」に対する達成状況について、評価を実施しました。「各年度の数値目標等」に定量的な目標が設定されている事業の評価については、110%以上を達成した事業を「A 目標を上回って達成」、90%以上110%未満の達成状況の事業を「B 目標をおおむね達成」、90%未満しか達成できなかった事業を「C 目標を未達成」とする3区分としました。

また、「C 目標を未達成」と評価した事業については、何が支障となり、どのような対応を行っていくのかを明らかにするため、本報告書に課題と対策を記載しています。

なお、平成28年度の達成状況については、既に平成29年3月31日時点での見込みによる評価を公表していますが、今回、同日時点での実績に基づき評価の確定を行いました。

表 1 定量的な目標に係る区分

評価	達成度
A 目標を上回って達成	110%以上
B 目標をおおむね達成	90%以上～110%未満
C 目標を未達成	90%未満

(3) 評価結果の概要

倍増プラン全111事業のうち、平成27年度末までに完了している2事業を除く109事業の平成28年度の達成度について評価したところ、31事業が「目標を上回って達成」、57事業が「目標をおおむね達成」、21事業が「目標を未達成」となりました。その結果、「目標を上回って達成」と「目標をおおむね達成」を合わせた「目標を達成」した事業は109事業中88事業となり、割合では80.7%となりました。

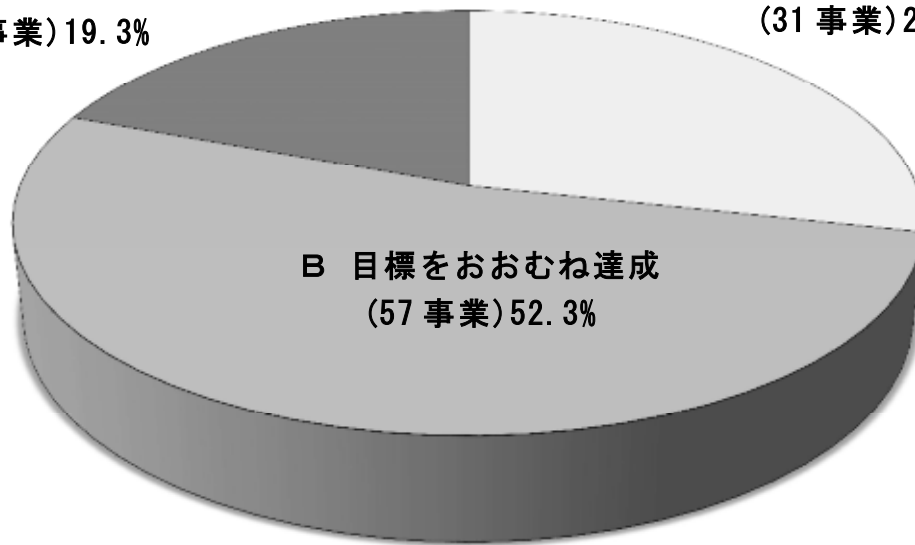
分野別では、「1 子どもと親のしあわせ倍増」において8事業が、「目標を上回って達成」となり66%を占めたほか、「4 障害者のしあわせ倍増」の分野においても「目標を上回って達成」している事業の比率が高い結果となりました。また「7 文化・芸術」、「9 自然・環境」の分野において、「目標を未達成」となった事業の比率が他の分野より高い結果となりました。

表 2 平成28年度達成状況

分野	事業数	達成度評価		
		A 目標を上回って達成	B 目標をおおむね達成	C 目標を未達成
1 子どもと親のしあわせ倍増	12	8	4	0
2 若者のしあわせ倍増	4	2	2	0
3 高齢者のしあわせ倍増	8	2	3	3
4 障害者のしあわせ倍増	11	6	4	1
5 日本一の教育都市	7	1	6	0
6 健康・医療・福祉	22	8	10	4
7 文化・芸術	5	0	3	2
8 安全・安心	13	0	11	2
9 自然・環境	15	1	8	6
10 まちづくり・コミュニティ	12	3	6	3
合計 (割合)	109	31 (28.4%)	57 (52.3%)	21 (19.3%)

図1 全体の評価結果

A 目標を上回って達成 (31事業)28.4%
 B 目標をおおむね達成 (57事業)52.3%
 C 目標を未達成 (21事業)19.3%



A	目標を上回って達成	31事業	(28.4%)
B	目標をおおむね達成	57事業	(52.3%)
目標を達成		88事業	(80.7%)

図2 分野別の評価結果

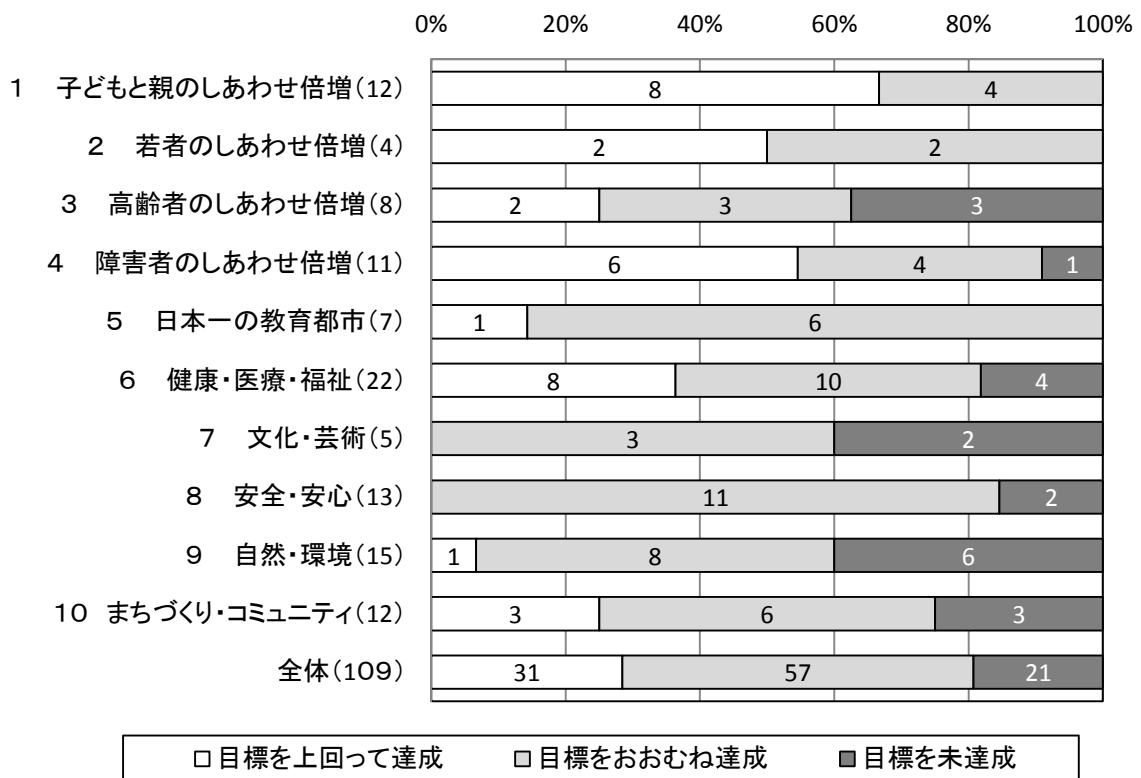


表3 「目標を上回って達成」 事業一覧 【31事業】

No.	事業名	掲載ページ
2-1	認可保育所の増設	8
2-2	放課後児童健全育成事業の充実	8
2-3	保育・幼児教育の推進	8
3-2	子育てパパ応援プロジェクト事業	8
3-3	「親の学習」の推進	9
4-1	ふるさとハローワークの拡充	9
4-2	女性の再就職支援	9
4-3	女性の起業支援	9
6	青少年の居場所事業（さいたま市若者自立支援ルーム）	9
7	若者ユースアドバイザーの養成	9
13-1	アクティブチケット事業の拡充	11
14	シニアの社会参加を促進する事業の連携強化	11
15	さいたま市障害者就労施設等からの物品等の優先調達の推進	11
17-1	障害者工賃向上プロジェクトの実施	12
17-3	障害者の暮らしを支える住まいの整備	12
19	ユニバーサルスポーツの推進	12
20-1	発達障害者・精神障害者支援の拡充	12
20-2	精神障害者に対する支援の拡充	12
25-2	スクールサポートネットワーク（SSN）の拡充	14
28-1	西区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	15

28-2	北区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	15
28-3	大宮区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	15
28-7	浦和区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	16
28-8	南区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	16
34	(仮称)生活保護適正化対策本部の設置	17
35-1	生活困窮者自立支援事業	17
35-2	ホットラインの設置	17
47-2	水辺再生・サポート活動の推進	21
53	身近な公園整備事業	24
55	東日本大震災復興支援を含めた卸売市場活性化事業	24
56-2	自治会館の整備促進	24

表4 「目標を未達成」 事業一覧 【21事業】

No.	事業名	掲載ページ
10	高齢者見守りネットワークの構築	10
12	公認グラウンド・ゴルフ場の整備	10
13-2	シルバーポイント事業（介護ボランティア制度）の拡充	11
16	屋外での移動が困難な障害者のための外出支援	11
26-1	地域活動団体と協働した生活習慣病予防の推進	14
26-2	特定健診受診率を60%に向上	14
31	市立病院の施設整備事業の推進と救命救急センターの設置	17
33	がん検診事業	17
39-1	多様な市民ニーズに応える図書館機能の充実	18
39-2	子ども読書活動推進事業	18
40-1	WHOセーフコミュニティの認証取得	19
41-1	消防団の充実強化に係る事業の推進	19
45-2	国指定史跡見沼通船堀の保全	21
47-1	目指せ日本一！サクラサク見沼田んぼプロジェクト	21
47-3	高沼用水路の整備	22
48	滞在型市民農園と農業交流施設の整備	22
49-3	市有施設太陽光発電設備設置プロジェクト	22
50	環境センターからサーマルエネルギーセンターへ！ ～西部環境センターと東部環境センターの統廃合～	23
52	無電柱化の推進	24
56-1	自治会加入促進	24

59	空き家、空き店舗を活用した地域コミュニティ活性化	25
----	--------------------------	----

2 各事業の達成状況

(1) 子どもと親のしあわせ倍増

		平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		評価	理由	評価	理由
1	(仮称)さいたま市子ども総合センターの整備	開設準備		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、建設工事を実施しました。 ・施設の管理・運営について検討を行い、施設の設置条例を制定しました。 	
		B	平成28年度の目標である、開設準備について、建設工事が予定どおり進捗しており、施設開設に必要な備品や運営等を関係機関と協議し、施設設置条例を作成、制定したことから、B評価としました。		
2-1	認可保育所の増設	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		平成29年4月1日時点での認可保育所定員増1,060人(前年比)(定員累計16,583人)		認可保育所の新規開設18施設(1,280人)及び増改築等8施設(106人)により、平成29年4月1日の定員数が、前年対比で1,386人増となりました。(定員累計17,680人)	
		A	平成28年度の数値目標である、平成29年4月1日時点での認可保育所定員増1,060人(前年比)について、目標を上回る1,386人の定員増を達成できたことから、A評価としました。		
2-2	放課後児童健全育成事業の充実	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		平成29年4月1日時点での受入可能児童数420人増(12か所)		放課後児童クラブ16か所の開設により、平成29年4月1日の受入可能児童数が前年対比で775人増となりました。	
		A	平成28年度の数値目標である、平成29年4月1日時点での受入可能児童数420人増(12か所)について、目標を上回る775人の受入可能児童数の増員を行うことができたことから、A評価としました。		
2-3	保育・幼児教育の推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		交流会合計500人以上(実務担当者会、公開保育研究会、小学校等体験研修)		保幼小連携推進実務担当者会、公開保育研究会、保育者小学校等体験研修会、保育者自然体験研修会などの実施により、合計806人の交流を行いました。	
		A	平成28年度の数値目標である、保育や教育に携わる者500人以上の交流について、目標を上回る806人の交流を実施できたことから、A評価としました。		
2-4	保育コンシェルジュの全区配置による保育相談窓口の強化	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		保育所等入所の相談・案内		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等入所の相談・案内を約9,500件実施しました。 ・認可保育所利用保留者に対して現況調査を実施し、市が認定しているナーサリールーム及び家庭保育室等への案内を行いました。 	
		B	平成28年度の目標である保育所等入所の相談・案内を実施し、現況調査の上、利用者に対して本市の保育資源を活用することができたことから、B評価としました。		
3-1	保育士・幼稚園教諭体験の拡大	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		年間参加者数2,130人(累計7,440人)		父親等の子育て参加を推進するため、1日保育士体験のリーフレットの配布や、体験風景を園だより等を通じて周知を図るとともに、各種園行事に合わせた実施等参加しやすい弾力的な運営を行い、平成28年度の保育士・幼稚園教諭体験への参加は年間参加者数2,323人(累計9,654人)となりました。	
		B	平成28年度の数値目標である、保育士・幼稚園教諭体験年間参加者数2,130人(累計7,440人)について、2,323人となったことから、B評価としました。		
3-2	子育てパパ応援プロジェクト事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		父親向け講座・イベント等の参加者及び父親の施設利用者数 6,500人		月1回以上日曜日に単独型子育て支援センターを開所し、父親向け講座・イベント等を更に実施したこと、また、パパ・スクールを全7回開催したことで、父親向け講座・イベント等の参加者及び父親の施設利用者数は10,530人となりました。	
		A	平成28年度の数値目標である、父親向け講座・イベント等の参加者及び父親の施設利用者数6,500人について、目標を上回る10,530人の参加者及び利用者があったことから、A評価としました。		

3-3	「親の学習」の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		男性参加者の割合15% (延べ参加者数1,500人)	生涯学習総合センター及び公民館(60館)において、親の学習事業を198回実施し、延べ参加者数は1,981人、男性参加者の割合は29.4%でした。
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、男性参加者の割合15%については29.4%となり、延べ参加者数1,500人については1,981人となったことから、A評価としました。		
4-1	ふるさとハローワークの拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		ハローワーク利用者を除くふるさとハローワーク女性利用者総数 延べ2,500人	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア・コンサルティングの女性利用者数 790人 ・内職等相談における女性利用者数 619人 ・子育てと仕事の両立相談における女性利用者数 626人 ・再就職チャレンジ事業(セミナー等)の女性利用者数 5,011人
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、ハローワーク利用者を除くふるさとハローワーク女性利用者総数延べ2,500人について、目標を上回る7,046人の女性が利用したことから、A評価としました。		
4-2	女性の再就職支援	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		再就職支援事業による就職者の割合 5割以上	再就職支援事業における就職者割合: 58.7% <ul style="list-style-type: none"> ・就業体験付き就労スキルアップ支援事業: 37人/50人 ・職場体験付き再就職支援講座: 7人/25人
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、再就職支援事業による就職者の割合5割以上について、目標を上回る58.7%となったことから、A評価としました。		
4-3	女性の起業支援	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		女性による起業数 10件	女性の起業セミナーの実施などにより、女性の起業数13件を達成しました。
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、女性による起業数10件について、目標を上回る13件の起業があったことから、A評価としました。		
5	ひとり親家庭高等技能訓練促進費・生活支援給付金支給事業	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		平成28年度の養成機関修了者の常勤就職・進学率90%	平成28年度養成機関修了者24名のうち、常勤就職・進学者は22名となり、常勤就職・進学率92%を達成しました。
		評価	評価理由
B	平成28年度の数値目標である、平成28年度の養成機関修了者の常勤就職・進学率90%について、92%となったことから、B評価としました。		

(2) 若者のしあわせ倍増

6	青少年の居場所事業 (さいたま市若者自立支援ルーム)	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		さいたま市若者自立支援ルームの年間利用者数 延べ5,800人	平成28年度の年間利用者数は、午前の部延べ2,033人、午後の部延べ6,730人、合計8,763人でした。
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、さいたま市若者自立支援ルームの年間利用者数延べ5,800人について、目標を上回る8,763人となったことから、A評価としました。		
7	若者ユースアドバイザーの養成	数値目標等	実績
		ユースアドバイザー20人養成(累計60人)	10月19日にスキルアップ研修を実施し、29人の受講者に修了証を授与しました。(累計82人)
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、ユースアドバイザー20人養成(累計60人)について、目標を上回る29人(累計82人)の受講者が研修を修了したことから、A評価としました。		

8	地域若者サポートステーションの設置	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		若年者就業支援による就職等進路決定者数150人(累計550人)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域若者サポートステーション事業 117人 ・民間就職情報サイト活用型採用支援業務 25人 ・若年者就労ステップアップ事業 20人
		評価	評価理由
		B	平成28年度の数値目標である、若年者就業支援による就職等進路決定者数150人(累計550人)について、162人の進路が決定したことから、B評価としました。
9	ひきこもり支援の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		(仮称)ひきこもりサポーターを年100回派遣	ひきこもりの方やその家族を支援するリレートサポーターを年100回派遣しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の数値目標である、リレートサポーター年100回の派遣について、年100回の派遣となったことから、B評価としました。

(3) 高齢者のしあわせ倍増

10	高齢者見守りネットワークの構築	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		見守りネットワークづくりの推進(854団体[自治会])	地区社会福祉協議会が行う見守り活動に対する補助を拡充しました。なお、48地区社会福祉協議会のうち35地区において高齢者等を対象とした見守り活動を実施しました。
		評価	評価理由
		C	平成28年度の数値目標である、見守りネットワークづくりの推進(854団体[自治会])について、自治会を包括する地区社会福祉協議会における見守り活動の推進を図ることとして事業を開始しましたが、見守り活動を実施している地区社会福祉協議会が48地区中35地区となったことから、C評価としました。
		課題	市内の各地域の置かれた環境や、地域での活動内容、資源について大きな地域差があることが課題です。
対策	見守り活動の普及のため、チラシの配布や未実施地域への先進事例の紹介等を通じて情報提供を進めます。		
11-1	24時間訪問介護サービスの推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・市内100%の地域にサービス提供される環境を整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市内2カ所の事業所が開設し、合計8カ所になりました。 ・市内サービス提供地域率：100%
		評価	評価理由
		B	平成28年度数値目標である、市内100%の地域にサービス提供される環境整備について、100%の環境を整備できたことから、B評価としました。
11-2	介護者サロン・カフェの増設	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		介護者サロン(27か所・550回)、カフェ(4か所)の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者サロンについては、地域包括支援センター(さいたま市愛称シニアサポートセンター)27か所で766回開催しました。 ・介護者カフェについては、市内4か所で実施しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の数値目標である、介護者サロンの開催(27か所・550回)について、27か所で合計766回開催し、目標を達成できました。また、介護者カフェについて、目標どおり市内4か所で実施できたことから、B評価としました。
12	公認グラウンド・ゴルフ場の整備	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		工事完了	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド・ゴルフ場の整備工事(建築物を除く)に着手しました。 ・建築物(事務所及び便所棟)の詳細設計を行いました。
		評価	評価理由
		C	平成28年度の目標である、工事完了について、平成29年度整備完了予定の1年遅れとなったため、C評価としました。
		課題	新規に開設する施設であることから、積極的なPR活動を行う必要があります。
対策	平成30年度の供用開始に向けて、引き続き整備を進めるとともに、指定管理者の指定や広報等の開設準備を行います。		

13-1	アクティブチケット事業の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		利用枚数17,500枚		アクティブチケットを利用できる施設の拡大や事業の広報を行ったことにより、68,883枚の利用がありました。		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、アクティブチケットの利用枚数17,500枚について、目標を上回る68,883枚となったことから、A評価としました。			
13-2	シルバーポイント事業（介護ボランティア制度）の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		介護ボランティア制度登録者10,400人		チラシの配置依頼、市報さいたま9月号への記事の掲載、催事情報システムでのPR画像放映、イベントでのPR、受入施設として未登録の施設に訪問し登録の呼びかけ等を実施したことにより、8,452人の登録がありました。		
		評価	評価理由			
		C	平成28年度の数値目標である、介護ボランティア制度登録者数10,400人について、8,452人となったことから、C評価としました。			
		課題	登録者の増加に向けて、更なるPRの実施と、ボランティア受入施設の拡大が課題です。			
対策	自治会の回覧板を利用したり、事業者向けにステッカーを作成するなど、PRを強化します。また、介護施設だけであったボランティア受入施設を、児童施設、障害者（児）施設にも拡大し、登録者数の増加を図ります。					
13-3	シルバーポイント事業（長寿応援制度）の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		長寿応援制度登録者30,000人		チラシの配置依頼、市報さいたま9月号や登録者数の少ない区の区報への記事の掲載、催事情報システムでのPR画像放映、イベントや説明会でのPR、未登録の団体への登録の呼びかけ等を実施したことにより、28,385人の登録がありました。		
		評価	評価理由			
		B	平成28年度の数値目標である、長寿応援制度登録者30,000人について、28,385人となったことから、B評価としました。			
14	シニアの社会参加を促進する事業の連携強化	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		シニアユニバーシティ学生、大学院学生の、シルバーバンクもしくはシルバー人材センターへの登録80人		シニアユニバーシティの学生、大学院生及び卒業生に対して、シルバーバンク又はシルバー人材センターへの登録について積極的な勧誘を行い、平成28年度は104人の登録がありました。		
		評価	評価理由			
A	平成28年度の数値目標である、シニアユニバーシティ学生、大学院学生のシルバーバンクもしくはシルバー人材センターへの登録80人について、目標を上回る104人となったことから、A評価としました。					

(4) 障害者のしあわせ倍増

15	さいたま市障害者就労施設等からの物品等の優先調達の推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		発注件数47件 (前年度の60%増)		調達目標等を定めた調達方針を策定するとともに、各区役所や部局に障害者就労施設等の紹介を行い、契約に結びつけることができたことにより、庁内での調達は86件となりました。		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、発注件数47件(前年度の60%増)について、目標を上回る86件となったことから、A評価としました。			
16	屋外での移動が困難な障害者のための外出支援	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		事業所数5か所の整備 (累計20か所)		移動支援事業所を4か所(累計37か所)を整備しました。		
		評価	評価理由			
		C	平成28年度の数値目標である、事業所数5か所の整備(累計20か所)について、4か所(累計37か所)となったことから、C評価としました。			
		課題	居宅介護事業所の新規申請事業所の件数に応じ、移動支援事業所の整備数が変わるため、安定した整備が行えませんでした。また、整備後にやむを得ず廃止する事業所も複数ありました。			
対策	引き続き、居宅介護事業所の新規申請事業所に対し、移動支援の参入を促進するとともに、既存の居宅介護事業所に対しても移動支援の参入を促進します。					

17-1	障害者工賃向上プロジェクトの実施	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		平均工賃月額 20,000円		平均工賃月額24,654円		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、平均工賃月額20,000円について、目標を上回る24,654円となったことから、A評価としました。			
17-2	ユニバーサル就労の実現	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		障害者の一般就労者数190人(累計700人)		障害者の就労支援を実施し、199人を一般就労に結びつけました。		
		評価	評価理由			
		B	平成28年度の数値目標である、障害者の一般就労者数190人(累計700人)について、199人となったことから、B評価としました。			
17-3	障害者の暮らしを支える住まいの整備	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		グループホーム24人分増設(累計60人分)		グループホームの定員増について民間法人や国と協議を進め、設置の促進や施設整備費用の助成を行い、定員を47人分増設しました。(累計119人分)		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、グループホーム24人分増設(累計60人分)について、目標を上回る47人分増設できたことから、A評価としました。			
18	必要のある学校への特別支援学級の設置	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		平成29年4月に特別支援学級を20校で開設(特別支援学級設置率約78%)		平成29年4月に、小・中学校19校に特別支援学級を開設しました。(特別支援学級設置率約86.9%)		
		評価	評価理由			
		B	平成28年度の数値目標である、特別支援学級の20校での開設(特別支援学級設置率約78%)について、19校で開設できたことから、B評価としました。			
19	ユニバーサルスポーツの推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		ふれあいスポーツ大会及びノーマライゼーションカップ、(仮称)ユニバーサルスポーツフェスティバルへの合計来場者数3,000人		ふれあいスポーツ大会の来場者数1,015人、ノーマライゼーションカップの来場者数1,524人、ユニバーサルスポーツフェスティバルの来場者数2,700人となり、合計来場者数が5,239人となりました。		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、ふれあいスポーツ大会及びノーマライゼーションカップ、ユニバーサルスポーツフェスティバルへの合計来場者数3,000人について、目標を上回る5,239人となったことから、A評価としました。			
20-1	発達障害者・精神障害者支援の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		10区における、精神保健福祉に関連した相談や、区役所職員への支援(1,200件)、同行訪問(300件)		10区における精神保健福祉に関連した相談や、区役所職員への支援を5,755件(うち訪問件数382件)行いました。		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、精神保健福祉に関連した相談や区役所職員への支援について、支援件数が目標を上回る5,755件(うち訪問件数382件)となったことから、A評価としました。			
20-2	精神障害者に対する支援の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		指針に基づく退院支援の実施(地域移行させる目標人数10人)		平成27年度に策定したさいたま市精神障害者退院促進支援指針に基づき、退院支援を実施し、30人が地域移行しました。		
		評価	評価理由			
		A	平成28年度の数値目標である、指針に基づく退院支援の実施(地域移行させる目標人数10人)について、目標を上回る30人となったことから、A評価としました。			

20-3	発達障害者に対する支援の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		<ul style="list-style-type: none"> ・学生向けキャリア形成支援事業の実施 ・2か所以上の大学等教育機関を含めた支援ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生を対象とした講座とさいたま市ステップアップオフィスの仕事体験ワーク、また保護者向け講座を実施しました。 ・高等学校及び大学等教育機関3か所との支援ネットワークを構築しました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、学生向けキャリア形成支援事業の実施及び2か所以上の大学等教育機関を含めた支援ネットワークの構築について、平成27年度に策定した学生向けキャリア形成支援事業プランに基づき講座等を実施したこと、また、3か所の教育機関と支援ネットワークを構築したことから、B評価としました。		
20-4	発達障害児支援の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け勉強会の開催（11回） ・ペアレントトレーニング（1クール11回・8組3グループ）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け勉強会を11回開催しました。 ・ペアレントトレーニングを24組に実施しました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、保護者向け勉強会の開催(11回)及びペアレントトレーニング(1クール11回・8組3グループ)の実施について、保護者向け勉強会11回開催、ペアレントトレーニング24組実施となったことから、B評価としました。		

(5) 日本一の教育都市

21-1	中高一貫教育の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		計画の実施	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第12条に規定する市議会の議決を得て、事業者と特定事業契約を締結しました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、計画の実施について、目標どおり、特色ある教育活動が展開できる中等教育学校の校舎整備に係る計画を実施できたことから、B評価としました。		
21-2	「国際バカロレア」認定に向けた取組の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		導入に向けた人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア機構が主催するワークショップに教職員3名が参加しました。 ・さいたま市国際バカロレア協議会（有識者による協議会）を開催し、国際バカロレアの認定に向け、研究を進めました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、導入に向けた人材育成について、国際バカロレア機構が主催するワークショップへの参加や、有識者による協議会の開催ができたことから、B評価としました。		
22-1	給食室の全校整備	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		—	—
		評価	評 価 理 由
—	—		
22-2	日本一笑顔あふれる給食～地元シェフと地場産物による食育の推進～	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		地元シェフによる学校給食を市立小・中・特別支援学校において20校実施（累計80校）	地元シェフによる学校給食を20校で実施しました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、地元シェフによる学校給食を市立小・中・特別支援学校において20校実施(累計80校)について、20校実施できたことから、B評価としました。		
23	心のサポート推進事業の強化	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポートネットワークの充実 ・小学校教員960人をゲートキーパーとして養成 ・支えとなる人がいると感じる児童生徒が80% 	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市子どもサポートチームの活動件数が、300件となりました。 ・910人の小・中学校教員に対して、ゲートキーパー研修を実施しました。 ・支えとなる人がいると感じる児童生徒が、75.6%となりました。
		評価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標どおり、300人の児童生徒に対しさいたま市子どもサポートチームによる支援を行うことができ、また、910人にゲートキーパー研修を実施することができました。さらに、支えとなる人がいると感じる児童生徒が75.6%となったことから、B評価としました。		

24	学校施設リフレッシュ計画の策定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		<ul style="list-style-type: none"> 学校施設リフレッシュ計画に基づき、大規模改修を実施 小中学校のトイレの便器洋式化率50%を達成 	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、躯体の健全性調査を小学校9校、中学校8校、高校1校で実施しました。 小・中学校のトイレの便器洋式化率が51.0%になりました。
		評価	理由
B	平成28年度の目標どおり、学校施設リフレッシュ基本計画に基づき、躯体の健全性調査を小学校9校、中学校8校、高校1校で実施するとともに、小・中学校のトイレの便器洋式化率が51.0%となったことから、B評価としました。		
25-1	チャレンジスクールの拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		チャレンジスクール参加者数延べ195,000人	平成28年度は、チャレンジスクールに延べ191,404人の参加がありました。
		評価	理由
B	平成28年度の数値目標である、チャレンジスクール参加者数延べ195,000人について、延べ191,404人の参加があったことから、B評価としました。		
25-2	スクールサポートネットワーク（SSN）の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		学校支援ボランティア数24,100人	市立小・中・特別支援学校において、31,497人の学校支援ボランティアに御協力いただきました。
		評価	理由
A	平成28年度の数値目標である、学校支援ボランティア数24,100人について、目標を上回る31,497人の方に御協力いただくことができたことから、A評価としました。		

(6) 健康・医療・福祉

26-1	地域活動団体と協働した生活習慣病予防の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		全区での効果検証と事業の改善・実施 20～60歳代男性の肥満者の割合24.1% (平成28年度目標 20%以下) 40～60歳代女性の肥満者の割合15.2% (平成28年度目標 14%以下)	さいたま市民5,000人を対象とした平成28年度健康づくり及び食育についての調査結果 20～60歳代男性の肥満者の割合 25.0% (平成24年度比+0.9%) 40～60歳代女性の肥満者の割合 16.4% (平成24年度比+1.2%)
		評価	理由
		C	平成28年度の数値目標である、20～60歳代男性の肥満者の割合20%以下については25.0%、40～60歳代女性の肥満者の割合14%以下については16.4%となったことから、C評価としました。
		課題	運動習慣や食習慣の改善を図るための啓発に加え、健康づくりの実践につなげるための仕組みづくりが課題です。
対策	自身の身体の状態を可視化する体組成計の測定機会の増加を図ることにより、健康づくりの実践につなげていきます。		
26-2	特定健診受診率を60%に向上	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		特定健康診査受診率60%	平成28年度の特定健康診査受診率（暫定値）は36.4%です。 (平成29年6月末現在)
		評価	理由
		C	平成28年度の数値目標である特定健康診査受診率60%について、受診率向上対策として、電話や文書による受診勧奨や健診受診者に抽選で賞品をプレゼントする受診キャンペーンの賞品数を増やし、より充実させて実施しましたが、目標を達成することができなかったことから、C評価としました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 目標値が60%と現在の受診率と大きく乖離しているため、目標受診率の設定方法の見直しが必要です。 若年層の受診率が低いことから、40歳～50歳に向けた効果的なアプローチを検討します。 		
対策	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度中に第3期特定健康診査等実施計画を策定予定であり、計画の検討委員会にて平成30年度以降の市独自の目標値について検討します。 九都県市にて若年層に向けて策定したPR動画を活用し、受診率向上につなげていきます。 		
27	健康マイレージ制度の創設	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		全市域での実施	継続的に健康づくりに取り組む市民を増やすため、歩数や各種健（検）診の受診に対してポイントを付与し、付与されたポイントに応じて特典を受けられる健康マイレージを9月から開始しました。
		評価	理由
B	平成28年度の目標である、全市域での実施について、全市域で健康マイレージを実施できたことから、B評価としました。		

28-1	西区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・ウォーキングイベント参加者数 600人 ・ウォーキング講習会参加者数 30人	ウォーキングイベント及びウォーキング講習会を開催しました。 ・ウォーキングイベント参加者：1,059人 「駅からハイキング」(参加者：999人) 「ウォークラリー大会」(参加者：60人) ・ウォーキング講習会参加者：58人
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、ウォーキングイベント参加者数600人及びウォーキング講習会参加者数30人について、ウォーキングイベント参加者1,059人、ウォーキング講習会参加者58人と目標を上回ったことから、A評価としました。		
28-2	北区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		ウォーキングイベントの参加者50人	・平成29年3月に、北区ウォーキングガイドのコースを活用したウォーキングイベントを開催しました。(参加者：139人) ・北区ウォーキングガイドを改訂し、新たに北区推奨ジョギングコースを掲載した「北区ウォーキング&ジョギングガイド」を作成しました。 ・北区ウォーキングガイド、北区推奨ジョギングコースマップを当課窓口、区内公共施設に配置及び北区HPに掲載し、各コースをPRしました。 ・北区ガイドマップの記事面にウォーキング及びジョギングコースを掲載し、各コースをPRしました。
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、ウォーキングイベントの参加者50人について、参加者が目標を上回る139人となったことから、A評価としました。		
28-3	大宮区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		(仮称)地域資源散策マップのコースを散策するイベント参加者50人	・観光ボランティアガイド会の案内のもと、散策マップのコースを巡るツアーを平成28年10月・平成29年3月に実施しました。(10月参加者：51人、3月参加者：50人) ・外国人を対象に着物着付け体験、盆栽づくり体験を含めた散策ツアーを平成28年5月・平成29年3月に実施しました。(5月参加者：15人、3月参加者：20人) ・大宮区推奨ジョギングコースに選定した大宮第三公園内のコースを大宮区ガイドマップにてPRしました。
		評価	評価理由
A	平成28年度の数値目標である、大宮区散策マップぶらり大宮めぐりのコースを散策するイベント参加者50人について、参加者が目標を上回る136人となったことから、A評価としました。		
28-4	見沼区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・「てくてく見沼」参加者アンケート満足度80% ・見沼区健康カレッジ参加者75人	・ウォーキングイベント「てくてく見沼」を11月23日に開催し、参加者アンケートにて満足度100%を達成しました。 ・見沼区健康カレッジに替わる教室「アラフォーからのボディレッスン」を開催しました。(参加者：76人) ・見沼区健康カレッジ同窓会によるコースの活用者 延44人
		評価	評価理由
B	平成28年度の数値目標である、「てくてく見沼」参加者アンケート満足度80%については満足度100%、見沼区健康カレッジに替わる教室の参加者75人については76人となったことから、B評価としました。		
28-5	中央区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		散策会参加者150人	・イベント参加者 148人 ・ウォーキングマップの増刷 2,000部
		評価	評価理由
B	平成28年度の数値目標である、散策会参加者150人について、参加者が148人となったことから、B評価としました。		
28-6	桜区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・のびのびウォーキング延べ参加者500人 ・その他ウォーキングイベントでのウォーキング参加者60人	・のびのびウォーキング 延べ参加者 1,524人 ・「桜区再発見ウォーキング」は開催当日(11月19日)の悪天候のため中止(申込者 52人)
		評価	評価理由
B	平成28年度の数値目標である、のびのびウォーキング延べ参加者500人、その他ウォーキングイベントでのウォーキング参加者60人について、のびのびウォーキング延べ参加者1,524人、桜区再発見ウォーキングは当日の悪天候により開催できず申込者についても52人であったことから、B評価としました。		

28-7	浦和区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		ウォーキングイベントの参加者180人	・JR東日本等の各種団体と協力し、「浦和区ぶらり散歩～浦和区民まつりを愉しむ～」を平成28年11月に実施しました。(参加者:1,216人) ・「浦和区ぶらり散歩～大東から駒場を歩く～」を平成29年3月に実施しました。(参加者:20人)
		評価	理由
A	平成28年度の数値目標である、ウォーキングイベントの参加者180人について、参加者が目標を上回る1,236人となったことから、A評価としました。		
28-8	南区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・ウォーキング教室の参加者200人(3団体) ・駅からハイキングの参加者1,500人	・ウォーキング教室等を開催しました。 ①主催事業 参加者計 72人(2回開催) ②共催事業 参加者計 113人(1団体1回開催) ③後援事業 参加者計 103人(2団体3回開催) ・9月29日～10月1日まで駅からハイキングを開催しました。(参加者:1,866人)
		評価	理由
A	平成28年度の数値目標である、ウォーキング教室の参加者200人(3団体)及び駅からハイキングの参加者1,500人について、ウォーキング教室の参加者は288人、駅からハイキングの参加者は1,866人となり、目標を上回ったことから、A評価としました。		
28-9	緑区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		秋の緑区見沼たんぼ散策の参加者300人	緑区お宝散策(各コース2回実施) ①原山、道祖土を巡るコース 93人 ②三室・縄文遺跡と古社、代用水と博物館を巡るコース 116人 ③野田、見沼代用水東縁に沿って 74人 参加者合計:283人
		評価	理由
B	平成28年度の数値目標である、散策の参加者300人について、参加者が283人となったことから、B評価としました。		
28-10	岩槻区ウォーキングコース・ジョギングコースの設定	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		ウォーキングコース、ジョギングコースのPR、活用	・ウォーキング・ジョギングコースを区ガイドマップに掲載・配布するとともに、ホームページにて区内外へ広くPRしました。 ・大宮アルディージャのトレーナーを招き、ウォーキング講習会及び健康ウォーキングを2回開催しました。(参加者:1回目137人、2回目100人) ・市民活動団体、目白大学と協働・連携してウォーキングイベントを開催しました。(参加者:108人)
		評価	理由
B	平成28年度の目標である、ウォーキングコース、ジョギングコースのPR・活用について、目標どおり事業を実施できたことから、B評価としました。		
29	社会保険大宮総合病院の移転存続	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・市が所有することになる現病院の敷地を貸し付け、新病院完成まで診療を継続 ・新病院開設に向けた協議	・本市が所有する現病院の敷地を独立行政法人地域医療機能推進機構に貸し付け、診療が継続されています。 ・新病院建替えの進捗状況について、随時確認を行いました。
		評価	理由
B	平成28年度の目標である、現病院の敷地を貸し付け、新病院完成までの診療の継続及び新病院開設に向けた協議について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。		
30	小児・周産期医療の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・総合周産期母子医療センターや高度救命救急センターとの連携 ・さいたま赤十字病院に市有地の貸付(新病院開設)	・整備を行うさいたま赤十字病院、埼玉県立小児医療センター、埼玉県、日本赤十字社埼玉支部等と連携し、整備のための情報を共有しました。 ・さいたま赤十字病院へ市有地を貸し付けました。
		評価	理由
B	平成28年度の目標である、総合周産期母子医療センターや高度救命救急センターとの連携及びさいたま赤十字病院への市有地の貸付について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。		

3 1	市立病院の施設整備事業の推進と救命救急センターの設置	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		建設工事着工		<ul style="list-style-type: none"> 施設整備に係る工事及び各調査業務を実施しました。 新病院建設工事に係る入札手続きを実施しました。 		
		評価	評 価 理 由			
		C	平成28年度の目標である、建設工事着工について、新病院建設工事に係る入札手続きを実施しましたが、建設工事着工には至らなかったため、C評価としました。			
		課題	平成29年度着手を予定している新病院建設工事を、遅れが出ないよう適切に実施する必要があります。			
対策	平成32年1月開院を目指して、新病院建設工事を適切に進めていきます。					
3 2	さいたま市がん対策基本計画の策定、がん対策の強化	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		基本計画に基づくがん対策（予防・療養等）の強化		がん対策推進協議会へ市内地域がん診療連携拠点病院の全院（3病院）の参加及びがん対策推進計画の進行管理を開始しました。 平成28年7月 がん患者就労相談の開設 8月 がん対策推進講演会開催（テーマ：がん患者の就労支援） 平成29年3月 がん対策推進講演会開催（テーマ：在宅療養）		
		評価	評 価 理 由			
		B	平成28年度の目標である、基本計画に基づくがん対策（予防・療養等）の強化について、市民、医療関係者、事業主向けの取組が実施できたことから、B評価としました。			
		課題				
3 3	がん検診事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		5がんの平均受診率40%		5がん（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん）検診の受診率向上のため、全対象者へ個別勧奨はがきを送るなどの取組を行い、平成28年度の平均受診率は28%となりました。		
		評価	評 価 理 由			
		C	平成28年度の数値目標である、5がんの平均受診率40%について、28%であったことから、C評価としました。			
		課題	受診者数は伸びているものの受診率は横ばいになってきています。この主な要因は高齢化の進展による対象者数の増加であると考えられます。今後も対象者数が増加していくことが予想されるため、受診率の向上が期待される年齢層や検診の種類等にターゲットを絞るなど、更に効果的な受診勧奨対策の実施が必要です。			
対策	今後の受診率向上については、国の精度管理マニュアル等にも個別勧奨が有効とされていることから、受診率の向上が期待される年齢層や検診の種類等にターゲットを絞った効果的な受診勧奨及び再勧奨を行っています。また、成人式における子宮頸がん検診のPR映像の放映など、新たに市のがん検診の対象になった方への制度の周知も引き続き行います。					
3 4	(仮称)生活保護適正化対策本部の設置	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		<ul style="list-style-type: none"> (仮称)生活保護適正化対策本部の開催 関係部署の連携による指導・支援の効果として不適切な施設の入所者数100人減少 		<ul style="list-style-type: none"> さいたま市生活保護適正化対策本部会議を平成28年8月に開催し、生活保護の適正化に向けて庁内連携を図りました。 平成29年3月末の施設入所者数は、対前年比で260人減少しました。 		
		評価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の目標である、生活保護適正化対策本部の開催及び不適切な施設入所者数100人減少について、さいたま市生活保護適正化対策本部会議を目標どおり開催し、施設入所者が260人減少したことから、A評価としました。			
		課題				
3 5-1	生活困窮者自立支援事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		生活保護受給者等の就労数650人（累計2,600人）		就労支援員やキャリアカウンセラー等の支援により、支援対象者のうち1,484人を就労に結び付けました。		
		評価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の数値目標である、生活保護受給者等の就労数650人（累計2,600人）について、目標を上回る1,484人を就労に結び付けることができたことから、A評価としました。			
		課題				
3 5-2	ホットラインの設置	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		ホットラインの運用による生活困窮者の早期発見と不正受給の発見（10件）		「生活保護ホットライン」を実施し、生活困窮者及び生活保護の不正受給の16件の事案について、早期発見・早期対応を行いました。		
		評価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の目標である、ホットラインの運用による生活困窮者の早期発見と不正受給の発見について、16件の事案に対応できたことから、A評価としました。			
		課題				

36	DV防止対策と被害者支援の拡充	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		次期DV防止基本計画に沿った経営管理と被害者支援の充実		・婦人相談員の2名増員やDV被害者カウンセリングの実施により、相談の充実を図りました。 ・デートDVに関する啓発品等を作成・配布し、周知や予防の啓発に取り組みました。	
		評価	理由	評価	理由
B		平成28年度の目標である、次期DV防止基本計画に沿った経営管理と被害者支援の充実について、相談体制の充実、デートDVに対する周知・意識改革やDV予防・防止の啓発に取り組んだことから、B評価としました。			

(7) 文化・芸術

37	(仮称)さいたまトリエンナーレの開催	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		第1回「(仮称)さいたまトリエンナーレ」の開催		9月24日から12月11日までの79日間にわたり、「さいたまトリエンナーレ2016」を開催しました。	
		評価	理由	評価	理由
B		平成28年度の目標である、さいたまトリエンナーレの開催について、目標どおり開催できたことから、B評価としました。			

38-1	盆栽文化の振興	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		年間来館者目標数70,000人 (平成24年度比40%増)		企画展及び特別展を計14回開催するとともに、盆栽関連講座やイベントを開催した結果、年間来館者数が平成24年度比約53%増、前年度比約2%増の75,627人となりました。	
		評価	理由	評価	理由
B		平成28年度の数値目標である、年間来館者目標数70,000人について、75,627人となったことから、B評価としました。			

38-2	(仮称)文化基金の設置	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績	
		基金を活用した文化芸術関連事業の実施		・文化芸術都市創造基金へ、一般財源、寄付金及び預金利息の積立を行いました。 ・文化芸術関連事業への支出を行いました。	
		評価	理由	評価	理由
B		平成28年度の目標である、基金を活用した文化芸術関連事業の実施について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。			

39-1	多様な市民ニーズに応える図書館機能の充実	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績			
		市民一人当たりの貸出数 9.1点		平成28年度は、図書館25館と電子書籍サービスで10,129,811点の貸出があり、市民一人当たりの貸出数は7.9点でした。			
		評価	理由	評価	理由		
		C		平成28年度の数値目標である、市民一人当たりの貸出数9.1点について、7.9点となったことから、C評価としました。			
		課題	図書館の未利用者に対し、来館を促す方策が必要となります。また、利用しやすい環境を提供する上で、ICタグ未導入の図書館への整備が課題となっています。				
対策	利用促進を図るため、図書館サービスについて多方面に向けて情報を発信しPRを強化していきます。また、利用しやすい環境を提供するため、ICタグを全ての図書館に貼付し自動貸出機を導入し、図書館ネットワークを活用した資料の効率的な運用を推進していきます。						

39-2	子ども読書活動推進事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績			
		・小学生不読者 2%以下 ・中学生不読者 5%以下		・「としょ丸どくしょてちょう」を市立小学校1年生に全員配付し、また、3年生から6年生向け「としょ丸読書手帳」を作成し配布しました。 ・学級文庫用図書の出先として新たに小学校を加え、市立小学校20校、市立中学校24校に実施しました。 ・小学生の不読者は4.08%、中学生の不読者は10.71%になりました。			
		評価	理由	評価	理由		
		C		平成28年度の数値目標である、小学生不読者2%以下及び中学生不読者5%以下について、小学生の不読者4.08%、中学生の不読者10.71%となったことから、C評価としました。			
		課題	平成28年度の学習状況調査の中で実施した読書調査の結果を検証し、家庭、地域、学校などと連携して小・中学生の読書環境をより豊かなものとしていく必要があります。				
対策	小・中学生の読書活動を推進するため、市立小・中学校・特別支援学校に学級文庫用図書の貸出しを行います。また、中・高校生対象のボランティア体験プログラムの実施を6か所の図書館に拡充するとともに、児童書のブックリストや読書手帳の作成・配布を実施します。						

(8) 安全・安心

40-1	WHOセーフコミュニティの認証取得	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		申請書の提出		<ul style="list-style-type: none"> ・セーフコミュニティ活動の中心である、5つの対策委員会を各8回開催し、各分野における課題や取組について検討しました。 ・事故、ケガに関するデータを収集、分析し、対策委員会へ提供しました。 		
		評価	評価理由			
		C	平成28年度の目標である、申請書の提出について、活動開始の宣言の遅れにより平成30年度となる見込みのため、C評価としました。			
		課題	セーフコミュニティ認証申請書の提出に向けた取組のうち、課題抽出を実施しましたが、取組の具体化まで至りませんでした。			
対策	取組の具体化を図るため、データ分析検討会議から出された助言を踏まえて、対策委員会で話し合いを進め、取組を早期に具体化します。					
40-2	WHO国際セーフスクールの認証取得	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		国際セーフスクール認証取得(認証式の開催)		平成29年1月20日に国際セーフスクール認証式において、WHO国際セーフスクールの認証を取得しました。		
		評価	評価理由			
B	平成28年度の目標である、国際セーフスクール認証取得(認証式の開催)について、モデル校の慈恩寺小学校が、認証センターの活動支援を受けながら、学校の安全性の向上に向けた取組を実施し、平成29年1月20日に認証を取得したことから、B評価としました。					
40-3	ASUKAモデルの普及や発信	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		市立小・中・高等・特別支援学校におけるAEDの使用を含む心肺蘇生法の実習100%実施		全ての市立小・中・高等・特別支援学校において、AEDの使用を含む心肺蘇生法の実習を実施しました。		
		評価	評価理由			
B	平成28年度の数値目標である、市立小・中・高等・特別支援学校におけるAEDの使用を含む心肺蘇生法の実習100%実施について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。					
41-1	消防団の充実強化に係る事業の推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		<ul style="list-style-type: none"> ・新設分団車庫整備(設計3棟・建設3棟) ・消防団員増員(純増32名) 		<ul style="list-style-type: none"> ・分団車庫整備については、数値目標の設計3棟・建設3棟に対し設計1棟となりました。なお、既存分団車庫については、設計2棟・建設3棟を行いました。 ・消防団員増員については、各種広報活動、地域との調整を実施しましたが、目標純増32名に対し6名減となりました。 		
		評価	評価理由			
		C	平成28年度の数値目標である、新設分団車庫整備(設計3棟・建設3棟)及び消防団員増員(純増32名)について、新設分団車庫整備設計1棟、消防団員6名減となったことから、C評価としました。			
		課題	新規の入団者数は60名～80名程度確保しておりますが、高齢や健康上等の理由により退団する団員が相当数いることが課題となっています。			
対策	消防団員自ら実施する消防団員募集活動の更なる推進、若年層の消防団員確保、大学や企業との連携強化などを行っていきます。					
41-2	防災アドバイザーの育成活用	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		避難場所運営訓練への参加率100%		<ul style="list-style-type: none"> ・防災アドバイザーのスキルアップ研修として、平成28年11月に地域で実践するための避難所運営ゲーム(HUG)の講座を実施しました。 ・避難場所運営訓練への参加の呼びかけを行ったことで、避難場所運営訓練への参加率が90.4%となりました。 		
		評価	評価理由			
B	平成28年度の数値目標である、避難場所運営訓練への参加率100%について、参加率90.4%となったことから、B評価としました。					
41-3	防災ボランティアコーディネーターの育成活用	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		災害ボランティアセンター運営訓練への延べ参加率100%		<ul style="list-style-type: none"> ・防災ボランティアコーディネーターのスキルアップ研修として、平成28年10月に被災者ニーズの聞き取りやボランティアニーズの振り分けなどロールプレイング形式の実践型研修を実施しました。 ・総合防災訓練において、災害ボランティアセンター運営訓練を実施し、延べ参加率が99%となりました。 		
		評価	評価理由			
B	平成28年度の数値目標である、災害ボランティアセンター運営訓練への延べ参加率100%について、参加率99%となったことから、B評価としました。					

4 1 - 4	中学校での防災教育	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		全ての中学校において、教育課程に位置付けた防災教育と、緊急地震速報を活用した避難訓練	全ての市立中学校（57校）において、教育課程に位置付けた防災教育を実施するとともに、市立中学校54校において、緊急地震速報を活用した避難訓練を実施しました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、全ての中学校における教育課程に位置付けた防災教育と緊急地震速報を活用した避難訓練について、全ての市立中学校で教育課程に位置付けた防災教育を実施し、市立中学校54校で緊急地震速報を活用した避難訓練を実施したことから、B評価としました。		
4 2	高層マンションの自主防災組織等・防災備蓄の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		マンション管理組合に対するセミナーの実施（参加者150人）	・平成28年10月にマンション管理組合を対象とした防災セミナーを開催し、158名が参加しました。 ・マンション特有の防災対策促進のため、防災セミナーや管理セミナー、マンションを対象とした出前講座などを通じて、「高層マンション防災ガイドブック」を配布しました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、マンション管理組合に対する防災セミナーの実施（参加者150人）について、参加者が158人となったことから、B評価としました。		
4 3	身近な地域の防災拠点への支援	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		地域の防災拠点を整備（10か所）	・身近な地域の防災拠点として、自治会館7か所及びマンション2か所の計9か所登録し、防災備蓄品の貸与を行いました。 ・登録した自治会館1か所に、太陽光発電設備を整備しました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、地域の防災拠点を整備（10か所）について、9か所の整備ができたことから、B評価としました。		
4 4 - 1	ゾーン30の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		3地区の整備（累計26地区）	平成28年度内に、ゾーン30を市内4地区において整備しました。（累計26地区）
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、3地区の整備（累計26地区）について、ゾーン30を4地区で整備（累計26地区）できたことから、B評価としました。		
4 4 - 2	通学路の安全対策の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		全ての市立小・中学校において通学路の安全点検を実施し、改善の必要な箇所への対策を実施（安全点検実施率100%）	・全ての市立小・中学校において通学路の安全点検を行いました。その結果、対策の必要な箇所については、担当課において路面標示の設置等、交通安全対策を順次実施しました。 ・対応が困難な箇所等については、関係機関による合同点検を実施し、担当課において交通安全対策を講じました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、全ての市立小・中学校において通学路の安全点検を実施及び改善の必要な箇所への対策の実施について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。		
4 4 - 3	交通安全教育の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		・市立全小学校で「子ども自転車運転免許制度」を実施 ・市立中・高等学校20校でスケアード・ストレイト技法を用いた交通安全教育を実施（累計61校）	・市立全小学校で「子ども自転車運転免許制度」を実施しました。 ・市立中・高等学校18校で「スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室」を実施しました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の目標である、市立全小学校での「子ども自転車運転免許制度」の実施については目標どおり実施し、市立中・高等学校20校でのスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施については18校で実施できたことから、B評価としました。		
4 4 - 4	交通安全教室開催事業	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		市交通安全教室開催数 250回	市交通安全教室を253回開催しました。
		評 価	評 価 理 由
B	平成28年度の数値目標である、市交通安全教室開催数250回について、253回開催できたことから、B評価としました。		

(9) 自然・環境

45-1	見沼たんぼの総合情報発信基地の整備	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		新たな交流の場の設置		平成28年6月、新たな交流の場として「見沼・さぎ山交流ひろば」の運営を開始しました。		
		評価	理由			
		B	平成28年度の目標である、新たな交流の場の設置について、目標どおり実施できたことから、B評価としました。			
45-2	国指定史跡見沼通船堀の保全	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		見沼通船堀東縁の閘門2基、堤塘の再整備工事を実施		<ul style="list-style-type: none"> ・見沼通船堀東縁の閘門2基、堤塘の再整備工事に着手し、2か年の継続事業で実施中です。 ・平成28年度末の工事進捗率は13.9%です。 		
		評価	理由			
		C	平成28年度の目標である、見沼通船堀東縁の閘門2基、堤塘の再整備工事的実施について、平成29年度末までの継続事業(平成28・29年度)として実施しているため、C評価としました。			
		課題	工事中の予期せぬ事象や天候等による遅れが懸念されます。			
対策	平成29年度中に閘門2基、堤塘の再整備工事が完成するように、進捗状況をこまめに確認し、工事を進めます。					
46	新セントラルパーク構想	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		環境アセスメント調査計画書の作成		さいたま市環境影響評価条例に基づき、調査計画書を作成し、公告・縦覧を行いました。		
		評価	理由			
		B	平成28年度の目標である、環境アセスメント調査計画書の作成について、目標どおり作成できたことから、B評価としました。			
47-1	目指せ日本一！サクラサク見沼たんぼプロジェクト	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		桜の植樹(約800m)		<ul style="list-style-type: none"> ・見沼代用水沿いに約400m(32本)、公園等に17本の植樹を行い、桜回廊の総延長は20.2kmとなり日本一になりました。 ・憩いの場を4か所整備したほか、植樹祭の開催や応援サインプレート(2か所)、桜回廊ガイドマップを作成しました。 		
		評価	理由			
		C	平成28年度の目標である、桜の植樹(約800m)について、約400mとなったことから、C評価としました。			
		課題	総延長20km以上の桜回廊の整備を達成し、今後は桜回廊の維持管理や活用方法を検討していく必要があります。また、植樹が可能な場所があれば引き続き植樹を行い、見沼たんぼの桜をひとつに結んでいきます。			
対策	維持管理や活用方法については、市民、団体、事業者等の多様な主体と連携しながら、引き続き検討をしていきます。また、植樹については、地権者や関係者と協議を継続します。					
47-2	水辺再生・サポート活動の推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		「水辺のサポート制度」の参加者数85人増		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の参加者は延べ2,128人でした。 ・平成27年度の参加者延べ2,031人に対して97人増となりました。 		
		評価	理由			
		A	平成28年度の数値目標である、「水辺のサポート制度」の参加者数85人増について、目標を上回る97人増となったことから、A評価としました。			

47-3	高沼用水路の整備	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		約0.8km (整備率61%)		<ul style="list-style-type: none"> ・中央区大戸6丁目付近及び鈴谷5丁目付近の合計約0.8kmの親水型歩行空間の整備に着手しました。 ・市民団体との協議を踏まえながら、平成29年度整備予定箇所の詳細設計を行いました。 		
		評価	理由			
		C	平成28年度の数値目標である、約0.8km整備(整備率61%)について、工事実施中であり完成に至らなかったことから、C評価としました。			
		課題	転落防止等の安全対策について、市民団体との協議に時間を要しました。			
対策	市民団体との協議により転落防止等の安全対策が定まったことから、早期完成を目指します。					
48	滞在型市民農園と農業交流施設の整備	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		交流施設工事完了		<ul style="list-style-type: none"> ・農業交流施設整備基本計画素案について、パブリックコメントを実施して、計画を策定するとともに、整備予定地における測量業務について、業務が完了しました。 ・農業交流ソフト事業として農産物直売イベントを実施しました。 		
		評価	理由			
		C	平成28年度の目標である、交流施設工事完了について、未達成となることから、C評価としました。			
		課題	基本計画の策定において、クリーンセンター大崎の敷地を整備予定地として想定しており、当該敷地にある既存施設の整理を伴うことから、工事に着手するまでに時間を要します。			
対策	施設整備に時間を要することから、地産地消や農業交流の推進など、施設の目的である都市農業の振興を図ることができるソフト事業(農産物直売イベント)を実施していきます。					
49-1	全市立学校のエネルギーセキュリティ確保	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		—		—		
		評価	理由			
—		—				
49-2	メガソーラー推進事業～SUN-SUN Power Project～	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		新規個所本格稼働		「緑区間宮地区メガソーラー推進事業」の発電が本格稼働しました。		
		評価	理由			
B	平成28年度の目標である、新規個所本格稼働について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。					
49-3	市有施設太陽光発電設備設置プロジェクト	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		市有施設12か所への太陽光発電設備及び蓄電池の設置		市有施設8か所に太陽光発電設備等の設置を行いました。		
		評価	理由			
		C	平成28年度の数値目標である、市有施設12か所への太陽光発電設備及び蓄電池の設置について、市有施設8か所に設置となったことから、C評価としました。			
		課題	公共施設マネジメント計画及び公民館リフレッシュ計画との整合を図りながら太陽光発電設備等の設置を行う必要があります。			
対策	中・大規模改修の対象となっている市有施設の把握に努めるとともに、公共施設整備指針の周知を行います。					

49-4	環境にやさしい小水力発電の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		<ul style="list-style-type: none"> ・尾間木小水力発電稼働 ・深作小水力発電稼働 ・設置可能調査（事業可能性の検証） 	<ul style="list-style-type: none"> ・尾間木小水力発電（年間計画発電量約47万kWh）、深作小水力発電（年間計画発電量約43万kWh）共に年間を通じて稼働しました。 ・新規設置が可能な配水場の検討を行いました。 	
		評価	理由	
B	平成28年度の目標である、尾間木小水力発電稼働、深作小水力発電稼働及び新規設置可能配水場調査について、目標どおり稼働及び実施することができたことから、B評価としました。			
49-5	新クリーンセンター整備によるごみ発電の促進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		発電等施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・特別目的会社による施設の維持管理運営を適切に行いました。 ・施設の維持管理運営が適正に行われているか、モニタリングを実施しました。 ・環境影響評価事後調査書を作成し、さいたま市環境影響評価技術審議会に報告しました。 	
		評価	理由	
B	平成28年度の目標である、発電等施設運営について、目標どおり適切に施設を運営することができたことから、B評価としました。			
49-6	木質等バイオマスエネルギーの普及拡大	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		バイオマスエネルギー活用の開始	桜環境センターを含む4焼却場で市域のバイオマスエネルギー活用の継続ができました。	
		評価	理由	
B	平成28年度の目標である、バイオマスエネルギー活用の開始について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。			
49-7	市有施設の屋根貸しによる太陽光発電の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		屋根貸し事業の継続	平成27年度に屋根貸し事業を開始した5施設で事業を継続するとともに、公共貢献に関する覚書を締結しました。	
		評価	理由	
B	平成28年度の目標である、屋根貸し事業の継続について、5施設で目標どおり事業を継続できたことから、B評価としました。			
49-8	市民ファンド等の市民参画による再生可能エネルギーの導入促進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		各種団体や民間企業との連携による、市民参画による市民ファンドや寄付等を活用した事業の実施	公益的団体が、市民から寄付金等を募り太陽光発電設備を設置する市民共同発電事業への支援を行いました。	
		評価	理由	
B	平成28年度の目標である、各種団体や民間企業との連携による、市民参画による市民ファンドや寄付等を活用した事業の実施について、目標どおり行うことができたことから、B評価としました。			
50	環境センターからサマルエネルギーセンターへ！～西部環境センターと東部環境センターの統廃合～	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績	
		統廃合施設の整備事業者を決定	PFI等導入可能性追加調査を実施し事業手法の方向性を決めました。なお、サマルエネルギーセンターの余熱利用施設は、東楽園を移転、再整備することとしました。	
		評価	理由	
		C	平成28年度の目標である、統廃合施設の整備事業者を決定について、近年の経済状況等を考慮したPFI等導入可能性追加調査を実施し、サマルエネルギーセンター整備に関する事業手法の方向性を決めましたが、整備事業者を決定するまでに至らなかったことから、C評価としました。	
		課題	平成33年度の供用開始を目指し事業を進めていましたが、スケジュールに遅れが生じているため、老朽化している東西環境センターの予防保全に留意し事業を進める必要があります。	
対策	平成29年度からアドバイザー業務に着手し、そのなかで事業手法の決定や整備事業者選定に係る手続き等を実施し、事業を確実に進めることとします。			

(10) まちづくり・コミュニティ

51	暮らしの道路、スマイルロードの整備推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		150件の整備（累計570件）	暮らしの道路・スマイルロード整備事業により、147件（累計572件）の整備を実施しました。
		評価	理由
B	平成28年度の数値目標である、150件の整備(累計570件)について、147件(累計572件)の整備となったことから、B評価としました。		

5 2	無電柱化の推進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		電線共同溝1.2km整備 (累計2.4km)		電線共同溝約0.6kmの整備に着手しました。(累計0.9km)		
		評 価	評 価 理 由			
		C	平成28年度の数値目標である、電線共同溝1.2km整備(累計2.4km)について、0.6kmの整備に着手しましたが完了に至らなかったことから、C評価としました。			
		課題	国の交付金の交付額によって事業進捗が左右されます。また、関係機関が多岐にわたり、設計協議や事務手続きに遅れが生じています。			
対策	財源確保に向け国へ要望を行っていきます。また、関係機関との協議を速やかに先行早期完成を目指します。					
5 3	身近な公園整備事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		公園9か所開設 (累計29か所)		須黒稲荷公園、野方ふれあい広場、染谷公園、加倉ふれあい公園、元町東公園、美園西口ふれあい公園等を整備し、12か所の公園を開設しました。		
		評 価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の数値目標である、公園9か所開設(累計29か所)について、目標を上回る12か所の開設ができたことから、A評価としました。			
5 4	駅のバリアフリー化の促進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		バリアフリー設備整備率 100% (33駅/33駅)		・南浦和駅東口改札外エレベーターを整備、供用開始しました。 ・岩槻駅改札外エレベーターを整備、供用開始しました。 ※バリアフリー設備整備率 97.0% (32駅/33駅)		
		評 価	評 価 理 由			
		B	平成28年度の数値目標である、バリアフリー設備整備率100%(33駅/33駅)について、97.0%(32駅/33駅)となったことから、B評価としました。			
5 5	東日本大震災復興支援を含めた卸売市場活性化事業	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		復興支援物販イベントの定期的実施(年間12回)		大宮市場において、東北地方の水産・農産物等を販売する復興支援物販イベントを開催しました。 ・大規模イベント4回 ・ミニイベント 12回 計16回開催		
		評 価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の数値目標である、復興支援物販イベントの定期的実施(年間12回)について、目標を上回る年間16回開催となったことから、A評価としました。			
5 6-1	自治会加入促進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		自治会加入世帯数2,000世帯増 (累計7,500世帯増)		自治会加入世帯数は、1,358世帯増加しました。 (累計7,539世帯増)		
		評 価	評 価 理 由			
		C	平成28年度の数値目標である、自治会加入世帯数2,000世帯増(累計7,500世帯増)について、1,358世帯増(累計7,539世帯増)となったことから、C評価としました。			
		課題	加入世帯数が増加している自治会がある一方で、加入世帯数が減少している自治会もあることから、今後は、新規加入の促進に加え、加入世帯数の減少に歯止めをかけるための取組を合わせて実施することも検討する必要があります。			
対策	現行の加入促進施策及び自治会への運営支援を引き続き実施するとともに、自治会活動を継続していただくため、自治会の必要性を周知する取組を更に推進します。					
5 6-2	自治会館の整備促進	平成28年度の数値目標等		平成28年度の実績		
		自治会集会所整備数35件 (累計140件)		自治会集会所を43件整備しました。 ※内訳：建設6件 増改築修繕35件 借上2件 (平成25年度からの累計整備数133件)		
		評 価	評 価 理 由			
		A	平成28年度の数値目標である、自治会集会所整備数35件(累計140件)について、目標を上回る43件整備となったことから、A評価としました。			

57	NPO等との協働事業の推進	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		マッチングファンド制度による助成事業の実施(6事業)	平成28年度事業については、7事業の応募があり、6事業を実施しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の数値目標である、マッチングファンド制度による助成事業の実施(6事業)について、6事業の実施となったことから、B評価としました。
58	マンション管理組合への支援の拡充	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		マンション訪問数41団地(累計100団地)	旧耐震設計基準以前のマンション40団地を訪問し、ヒアリング等による調査及び管理組合への支援施策の情報提供を実施しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の数値目標である、マンション訪問数41団地(累計100団地)について、40団地を訪問することができたことから、B評価としました。
59	空き家、空き店舗を活用した地域コミュニティ活性化	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		空き店舗を活用した事業開始件数(2件)	空き店舗を活用した事業を1件開始しました。
		評価	評価理由
		C	平成28年度の数値目標である、空き店舗を活用した事業開始件数(2件)について、1件の事業開始となったことから、C評価としました。
		課題	関係所管や事業者から事業活用の相談を受けているものの、希望する地域・条件等が合わないことから商店街の空き店舗とのマッチングができない案件や、事業採算性が課題の案件があり、活用しやすい制度改正も検討する必要があります。
対策	引き続き、関係所管や事業者への周知に努め、マッチングを目指し関係者と綿密なヒアリングを行い、空き店舗を活用した事業が開始できるように取り組みます。また、事業者が活用しやすくなるよう、制度の見直しを行いました。		
60-1	(仮称)アーバンデザインセンターみその設置	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		(仮称)アーバンデザインセンターみその運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年8月に設立した「公民十学」によって構成される美園タウンマネジメント協会による地域の魅力向上に向けた総合生活支援サービスの提供を開始しました。 平成27年10月に設置したアーバンデザインセンターみその(UDCMi)を拠点として、地域住民や企業、大学などの意見交換や情報発信を行いました。 都市空間の将来像を示す「都市デザイン方針」をみその都市デザイン協議会が策定しました。 浦和美園駅構内のインフォメーションセンターで、まちづくりなどに関する情報を提供しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の目標である、アーバンデザインセンターみその運営支援について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。
60-2	(仮称)アーバンデザインセンター大宮の設置	平成28年度の数値目標等	平成28年度の実績
		(仮称)アーバンデザインセンター大宮の運営支援	<ul style="list-style-type: none"> 上半期は、主に組織体制の構築に向けた検討を行いました。 下半期は、主に運営計画や初動期の活動計画等の構築を行うとともに、一般社団法人アーバンデザインセンター大宮を設立し、センターを設置しました。
		評価	評価理由
		B	平成28年度の目標である、アーバンデザインセンター大宮の運営支援について、目標どおり事業を進めることができたことから、B評価としました。

しあわせ倍増プラン2013 平成28年度達成状況報告書（内部評価）

発行年月 平成29年9月
編集発行 さいたま市都市戦略本部都市経営戦略部
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
電話：048(829)1035 FAX：048(829)1997
E-Mail：toshi-keiei@city.saitama.lg.jp